

令和版 近江百人一首

〈読み札〉 第41首～第50首

聖地へと
西武の跡を
たどりつつ
成瀬の音が
よぎる夏風

うま吉

写真 / 辻田新也

清流に
透かして揺れる
梅花藻が
香る気がした
醒ヶ井の川

ヒロッサン

写真 / 辻田新也

扇骨を
小石に並べ
乾かせる
あど川の街
風はさわやか

増田 晶

写真 / 辻田新也

疏水から
雲居につづく
三井寺の
盛りの桜に
身は染まりゆく

根本 秀行

写真 / (公社) ひわこビジターズビューロー

そびえ立つ
巨木の側の
釈迦堂で
夫婦で誓う
永遠の祈りを

和泉 香代

写真 / (公社) ひわこビジターズビューロー

杣の川
笹の小舟は
くるくると
降りて行かん
吾もうみのこ

黙漣



谷水を
もらい生い立つ
「みずかがみ」
稲穂は山に
こうべを垂れる

水ロー 夫

写真 / 辻田新也

旅先で
白鬚神社
立ちよりにて
共白髪の子
手を取り合いて

俊

写真 / 辻田新也

旅の空
雲平筆に
込めし文
出す勇気なき
風のささめき

太陽

写真 / 辻田新也

「抱きしめて
びわこ」のあの日の
手のぬくみ
今も忘れじ
無窮の水面

大森 絢子

写真 / 辻田新也

----- で切り取ってご利用ください。